

臨床研究「前庭神経鞘腫に対する定位放射線治療による長期治療成績の後ろ向き観察研究」について

本研究の目的

前庭神経鞘腫の治療方法には、外科的手術、定位放射線治療、経過観察の3つがあります。この中でも定位放射線治療の歴史は浅く、10年超の長期のフォローデータは不足しています。したがって、3つの治療手段の中から上手に治療方法の手段を選ぶ上で、長期の放射線晩期合併症を含む定位放射線治療の有用性に関する長期治療成績が必要とされています。本研究の目的は、勝田病院水戸ガンマハウスでガンマナイフ治療がなされた前庭神経鞘腫の長期成績（腫瘍体積制御率、臨床的制御率、脳神経症状出現率）を明らかにすることです。

研究の方法、資料・情報の項目

勝田病院水戸ガンマハウスで1998年～2020年までにガンマナイフ治療がなされた患者さんの治療データ（性別、年齢、既往歴などの背景情報、MRIの画像情報、治療計画データ（治療計画など））をカルテ、MRI画像データ、治療計画装置から調査しデータの解析をします。

研究の対象者

調査データ 該当期間 1998年7月から2020年4月までの情報を調査対象とします。

研究期間

倫理審査委員会承認後～2025年3月31日まで

個人情報の取り扱い、本研究への参加を希望されない場合

利用する情報から氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会や論文等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

管理している情報に関して、開示、訂正、削除、あるいは第三者への開示、提供の停止を希望される方は、問い合わせ窓口までご相談ください。

当院の研究責任者

筑波大学附属病院 脳神経外科／筑波大学つくば臨床医学研究開発機構（T-CReDO）病院講師 杉井成志

本研究の資金源（利益相反）

本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。

お問い合わせ先

筑波大学附属病院：〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

所属・担当者名：筑波大学附属病院 脳神経外科／筑波大学 T-CReDO 病院講師 杉井成志

電話：029-853-1658、メール：narushi-sugii@md.tsukuba.ac.jp

対応可能時間：平日9～17時